

もちのき霊園のスタッフがつぶやくスタッフコラムです。

◎スタッフコラム◎ その1

テーマ：もちのき霊園の名前の由来

敷地の中に大きな木があり、当初は伐採し墓地を造成する予定でしたが、その木が自然に大きくなるのは珍しく、又近くに祠（ほこら）もあるので、その木をご神木として残したまま霊園を造成しました。その木が「もちのき」だったので、霊園名称が「もちのき霊園」と名付けられました。ご神木に守られ大切な方を安心して御供養していただけます。

もちのき霊園はご神木をはじめ、たくさんの木々と花に囲まれています。ぜひ一度ご見学ください。



中村



▲近くで見ると凄い迫力です

◎スタッフコラム◎ その2

テーマ：なぜお彼岸にぼたもちを食べるの？

お彼岸のいわれは諸説ありますが、日が真東から昇り真西に沈み、昼夜の長さがほぼ同じになる春秋の時をお中日といいます。仏教でいうとどちらにも偏らないとされ、あの世とこの世の岸が一番近づくお彼岸は、仏様の意志で自由にこの世に来ることが出来るといわれています。春にはぼたもち、秋にはおはぎをお供えるのは家を留守にしないよう敢えて手間がかかるものを作った為といわれています。

お墓清掃も故人を偲びながら故人の頭や身体を洗う気持ちですれば、自然と心がこもるのではないのでしょうか。



関戸



◎スタッフコラム◎ その3

テーマ：「花祭り」に甘茶をかけたり飲んだりするのはどうして？

4月8日のお釈迦様の誕生日をお祝いする「花祭り」をご存じですか。たくさんの花で飾り付けられた花御堂に誕生仏を安置して、仏の頭に甘茶をそそぎます。誕生仏に甘茶をかけるのは、お釈迦様が誕生したとき竜王が香水をふらせ、お釈迦様の体を洗い清めたという伝説に由来しています。甘茶を持ち帰り、家族で無病息災を願いながら飲むと良いともいわれています。お釈迦様の誕生を祝い、その生命力にあやかって無事に過ごそうという願いがあるのかもしれません。

花祭りの時期は春のはじまりです。
もちのき霊園の満開の桜も見事です。
お花見がてらご見学ください。



伊 藤



▲右手で天、左手で地を指す
「天上天下唯我独尊」ポーズ

◎スタッフコラム◎ その4

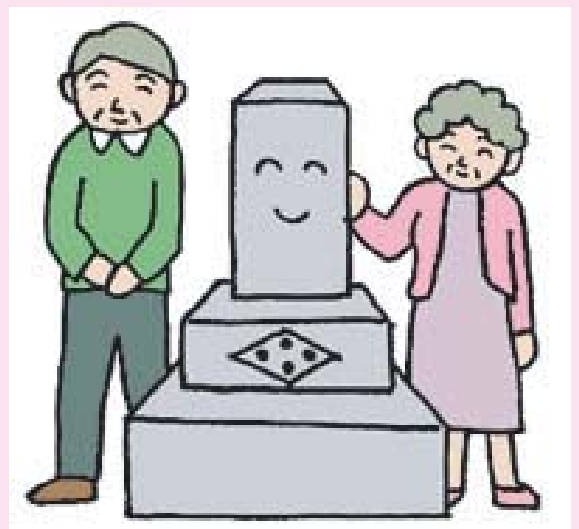
テーマ：「お墓の向き」に良い悪いはあるの？

お墓をお探しの方から「お墓の向き」について良くご質問をうけます。太陽が昇る東向きに人気があるようですが、仏教では「四方八方に八万四千の仏様がいらっしゃる」とされており、方角に吉凶はありません。ご見学の際にその場で手を掌わせてみて、しっかりとくる場所を選ばれるのも1つの方法です。向きにこだわるよりは、お参りしてご供養することが目的ですので、仏様やご自身にとって安らげる墓所であるかという点に重点を置かれたほうが良いのではないのでしょうか。

お墓にまつわるちょっとした疑問も
気軽にお尋ねください。



伊 藤



◎スタッフコラム◎ その5

テーマ：「数珠」には決まりがあるの？

数珠は僧侶が念仏や陀羅尼を唱えるとき、その回数を数える為に使ったといわれています。数珠の玉数は通常108個で煩惱の数とされています。念仏が陀羅尼題目など数珠をつまぐりながら唱える事で、煩惱がひとつずつ消えていくと考えられています。玉数は108を基数とし1080、54、42、27、21などで、数珠には形態、持ち方など宗派によって違いがあります。玉は木の実や宝石などが用いられ仏教の教えが円満で堅固なものだと示しているともいわれています。

数珠を持つことにより煩惱を取り払い故人の供養にもなるのではないのでしょうか。



伊 藤



▲持ち方も宗派によって異なります。わからない場合は事前に確認しておきましょう。

◎スタッフコラム◎ その6

テーマ：手と手を合わせる「合掌」とは？

お墓参りのみならず合掌ポーズをごく自然にされている方も多いと思います。

日本では昔から「右の拳に仏の心をいただき、左の掌に自分の心を込めて、これをぴったり合わせることによって仏と一つになることが出来る」と言われてきました。又、「南無」とは「私の心を差し上げます。あなたの心を頂戴します。あなたと私は一つです。」という意味です。仏を拝む時だけでなく、お互いに相手の心を右の掌にいただき自分の心を左手に込めて拝み合い生活を送れば、お互いを思い合う人間関係が生まれてくるのではないのでしょうか。



中 村

◎スタッフコラム◎ その7

テーマ：香典袋の表書きって決まりがあるの？

お香典とは線香やお花の代わりに故人の霊前に供える金品のことです。急なご不幸による出費に対する助け合いの意味もあり、お通夜か告別式のいずれかに持参します。お香典は前もって用意するものではない為、とっさの時に表書きで迷われる方が多いようなので香典袋の一般的な表書きについてまとめました。



〈仏式〉四十九日以前は「御霊前」以降は「御仏前」「御香典」など。

〈神式〉「御霊前」「御神前」「御柝料」など。

〈キリスト教〉「お花料」「御霊前」が一般的とされています。

〈無宗教〉「志」「お花料」「御香資」など。

もし先方の宗教がわからない時は「御霊前」とすればたいていの宗教に用いることができます。



関 戸